

宮城野中学校生活・学習状況調査の分析 (2) 学年

平成23年6月の分析

① 全体の傾向

- ・ 基本的な生活習慣について (昨年度行った生徒アンケートの結果と比較して)
 - ・ 学校での友人関係が広がっている。(96.5% → 98.2%)
 - ・ 規則を守ろうという意識が高く、昨年よりも向上している。(90.9% → 93.9%)
 - ・ 朝食習慣や家での手伝いを積極的に行う傾向が向上している。
(朝食習慣 92.6% → 95.2%) (家での手伝い 74.1% → 76.0%)
 - ・ 10時前に就寝する割合は改善されている。(31.3% → 47.8%)
 - ・ 睡眠時間を8時間以上取っている生徒の割合は減少している。(53.3% → 36.9%)
- ・ 学習面について
 - ・ ノートを丁寧に取っている生徒が増加している。(81.2% → 88.3%)
 - ・ 学校の宿題をしている生徒が増加している。(82.1% → 89.5%)
 - ・ 授業の予習復習に対する取組の姿勢が改善されている。
(予習 56.1% → 71.7%) (復習 56.7% → 65.5%)
 - ・ 苦手な教科の学習にもテストで間違えた問題にも積極的に取り組んでいる。以上から学習への意欲、家庭学習の習慣も昨年よりも定着しつつあると考えられる。
(苦手教科の学習 65.6% → 70.0%) (間違えた問題 65.2% → 68.3%)

② 良い点

- ・ グループでの話し合い活動を生かした授業がされている。
- ・ 授業で発言したり発表する機会が増えている。(82.6% → 90.0%)
- ・ 分からないところや疑問に思ったところを進んで質問できるなど積極的な授業への取組をしている生徒が増加している。(45.4% → 58.8%)

③ 課題となる点

- ・ 睡眠時間が短くなる傾向がある(8時間以上)。(53.3% → 36.9%)
- ・ 地域行事への参加が減少している。(62.6% → 60.0%)この点に関しては部活動など活動を積極的に行っている結果と推測される。
- ・ 将来に向けた夢や目標を持つ生徒の割合が減少している。(87.7% → 77.7%)これは、成長し、自分の実力に対して客観的な見方ができるようになった結果であるとも推測できる。

→ 改善に向けた取組

- ・ 生活習慣では就寝時間が遅くなってきているが、十分な睡眠時間を確保するように啓発活動をしていく。
- ・ 時間の作り方や地域でのボランティア活動に参加するなどの啓発を進める。
- ・ 将来に向けて家庭でじっくりと話し合い、明るい夢や目標を持てるようにしていく。
- ・ 授業内容の復習の重要性を啓発し、授業内容の定着を図る。